

授業と評価の年間計画

教科	地理歴史	科目	歴史総合
使用教科書（発行所）		歴史総合 近代から現代へ（山川出版社）	
履修条件 対象生徒	必修 普通科・理数科1年		
学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。		
学習方法	<p>【授業】 教科書と授業プリントを核に授業を展開する。単に歴史用語を暗記するのではなく、「近代化」「大衆化」「グローバル化」という大きな社会変化がどの時期にどの地域でおこり、どんな社会変化を意味しているのかを考えることが重要である。</p> <p>【家庭】 予習は教科書にしっかり目を通し、授業に備えること。また、身の回りにある現代的な諸課題が、いつ、どのようにして発生したのかなど、日頃から意識すること。</p>		
学習計画 と ねらい	<p>1 1学期</p> <p>(1) 中間検査まで ア 歴史の扉 イ 結びつく世界 ウ 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立</p> <p>(2) 期末検査まで ア 明治維新と日本の立憲体制 イ 帝国主義の展開とアジア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアの諸帝国が繁栄できた理由と、アジア諸国とヨーロッパ諸国の関係について理解する。 ・産業革命がヨーロッパ諸国にどのような変化をもたらしたかを理解する。 ・明治政府がどのような国家を目指したのかを踏まえた上で、「国民」がどのような形で生み出されたのかを考える。 ・日清戦争は日本・清・朝鮮の3国にどのような変化をもたらしたのかを考える。 	
	<p>2 2学期</p> <p>(1) 中間検査まで ア 第一次世界大戦と大衆社会</p> <p>(2) 期末検査まで ア 経済危機と第二次世界大戦 イ 戦後の国際秩序と日本の改革</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦はなぜ起こり、各国の社会や国際秩序にどのような変化をもたらしたかを考える。 ・世界恐慌が国際秩序にどのような変化をもたらしたのかを考える。 ・冷戦はどのようにして始まったのかを理解する。 	
	<p>3 3学期</p> <p>(1) 学年末まで ア 冷戦と世界経済 イ グローバル化する世界 ウ 現代の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・核開発競争はどのように展開し、それが国際社会にどのような影響を及ぼしたのかを考える。 ・冷戦の終結と湾岸戦争が、それぞれ国際社会に与えた影響を考える。 ・複雑に絡み合う現代の諸問題に、私達はどのように立ち向かっていけばいいかを考える。 	
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	それぞれの歴史的な事象が歴史の中でどのような意味をもつて位置付くのか、近代史は全体としてどのような展開をとげたのかを、多面的・多角的に捉えられているか。	これまでの歴史が、現代的な諸課題の形成に大きく関わっていることを理解し、自国の動向とグローバルな動向を横断的・相互的に捉えて現代的な諸課題を歴史的に考察できるか。	持続可能な社会づくりの観点から、地球規模の諸課題や地域課題を解決するために、歴史の中から課題解決への糸口を見出そうと、主体的に考えようとしているか。
評価方法	定期検査、授業態度、課題及び提出物などから、【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に取り組む学習態度】の3つの観点により評価する。		
その他	歴史用語を暗記するのではなく、歴史的な事象が起こった理由及びその後の変化や影響について考えることを目的とする。		